

文学部
MATSUURA Kyoko
PROFILE
職名
文学部 歴史学科教授
学歴
大阪大学大学院文学研究科 史学専攻博士後期課程単位 取得後退学（1991）
学位
文学修士（大阪大学、1988）
所属学会
日本西洋史学会、イギリス 都市生活史研究会、近代社 会史研究会、日本歴史学協 会
専門分野
西洋史

松浦 京子

まつうら きょうこ

研究課題1●イギリスにおける福祉国家と労働者女性運動

**研究課題2●帝国主義時代イギリスにおける成人教育（成人教育、帝国主義、シ
ティズンシップ）**

研究課題3●イギリス女性生活史

業 績

【著書】

『祝祭がレジャーに変わるとき―英国余暇生活史―』／創知社、1993年7月、共著。

『イギリス文化史入門』／昭和堂、1994年12月、共著。

『英国文化の世紀第2巻 帝国社会の諸相』／「お針子哀史―シームストラスとロン
ドンの縫製業」、研究社、1996年1月、共著。

『生活文化のイギリス史―紅茶からギャンプルまで―』指昭博編／「ティー・ブレ
イクでほっと一息」「イギリスの料理術」「都市型公園の誕生」「ヴィクトリアン・
クリスマスの光と陰」、同文館、1996年4月、共著。

『家と女性の社会史』／「世紀転換期イギリスにおける既婚女性労働の意味―観念的
批判と経済的重要性」、日本エディタースクール出版部、1998年3月、共著。

『世紀転換期イギリスの人びと―アソシエイションとシティズンシップ―』／「義務
と自負―成人教育におけるシティズンシップ―」、人文書院、2000年4月、共著。

『周縁からのまなざし―もうひとつのイギリス近代』／「イースト・エンドと東欧ユダ
ヤ移民―世紀転換期イギリス社会の移民規制論」、山川出版社、2000年10月、単著。

『ジェントルマンであること―その変容とイギリス近代』／「拡張講義運動と労働者
教育―統治する者のための教養教育」、刀水書房、2000年11月、共著。

『実業世界の教育社会史』／「知の喜びと仲間のために―前世紀転換期イギリスの労
働者教育運動―」、昭和堂、2004年10月、共著。

『空間のイギリス史』／「妻たちのオーラル・コミュニケーション世界―前世紀転換
期イギリスにおける労働者階級女性の情報伝達」山川出版社、2005年2月、共著。

『イギリス近現代女性史研究入門』／「[不可視化]された既婚女性労働」、青木書店、
2006年5月、共著。

『経済と消費社会 くジェンダー史叢書6』／「都市化と女性労働―19世紀後半から20
世紀初頭のロンドンにおける労働構造にみる―」、明石書店、2009年7月、共著。

【論文】

「ロンドンにおける既婚女性の賃金労働―19世紀後半から20世紀初頭まで」／『西洋
史学』152号、日本西洋史学会、1989年3月。

「世紀転換期イギリスにおける家内労働問題と女性労働者」／『待兼山論叢』24号、
大阪大学文学会、1990年12月、単著。

「19世紀後半のイギリスにおける訪問衛生教育―衛生思想に見る『家庭管理のある
べき姿』―」／『西洋史学』170号、日本西洋史学会、1993年9月、単著。

「世紀転換期『成人教育』における新たなうねり」平成6年度文部省科学研究費総
合研究A／「帝国主義時代のイギリスにおける教育の総合的研究」研究成果報告
書、1995年3月、単著。

「世紀転換期イギリスにおけるヘルス・ヴィジティングの転換と保健医官」／『京都
橘女子大学研究紀要』第22号、1995年12月、単著。

「世紀転換期イギリス労働者女性運動にみるフェミニズム―女性協同組合ギルドと母性支援要求―」／『京都橘
女子大学女性歴史文化研究紀要』第9号、2001年3月、単著。

「女性たちの情報伝達―オーラル・コミュニケーションと母親文化」／科学研究費補助金基盤研究B(1)、「西洋
近代における情報伝達に関する総合研究」平成12年度研究成果報告書、2001年3月、単著。

「19世紀イギリスの衣類縫製業と女性ミシン掛け工」／京都橘大学『女性歴史文化研究所紀要』第14号、2006
年3月、単著。

「19世紀イギリスにおけるディストリクト・ヴィジティング―女性文化としてのホスピタリティー―」／京都橘
大学『女性歴史文化研究所紀要』第16号、2008年3月、単著。

【翻訳】

『パンと知識と解放と―19世紀イギリス労働者階級の自伝を読む―』（デイヴィド・ヴィンセント著）／岩波書
店、1991年4月、共訳。

【国内学会発表】

「世紀転換期のロンドンにおける既婚女性の賃金労働」／1988年度広島史学研究会大会、広島大学、1988年10
月、単独。

「19世紀イギリスにおける家庭衛生教育運動」／第41回日本西洋史学会大会、名古屋大学、1991年5月、単独。
「ヘルス・ヴィジティング（訪問衛生教育）の転換―世紀転換期イギリスの保健医官と予防医学」／第63回西
洋史読書会大会、京都大学、1995年11月、単独。

【講演】

「ヨーロッパ女性史：近代イギリスの事例―ヴィクトリア～エドワード期のヘルス・ヴィジティングに見る社
会規範と女性」／京都市女性大学、京都市女性総合センター、1997年10月、単独。

「イギリス近代の家と女性―ヴィクトリアン・ライフの光と影―」／京都市女性大学・女性史入門講座、京都市、
1999年9月、単独。

「イギリスの社会福祉体制の特質と、そこにおける女性の位置づけ」／京都市小学校PTA連絡協議会・女性委
員会、京都市女性総合センター、2001年10月、単独。

「19世紀イギリス女性のライフスタイルと社会活動―福祉の複合体における女性―」／京都市女性大学、京都
市女性総合センター、2001年11月、単独。

「福祉国家の誕生と女性―イギリスの場合」／宇治市市民大学、宇治市、2002年10月、単独。

「市民としての女性、労働者としての女性」／歴史文化ゼミナール／ウィングス京都、2003年9月、単独。

「帝国主義戦争とイギリスの母」／歴史文化ゼミナール／キャンパスプラザ京都、2004年7月、単独。

「聞き書きの女性史について」／聞き書き編集講座／クレオ大阪セミナー、2006年7月、単独。

「近代英国における『日本的なもの』」／歴史文化ゼミナール／キャンパスプラザ京都、2006年7月、単独。

「繁栄の都―ロンドンの光と影―」／歴史文化ゼミナール／キャンパスプラザ京都、2009年10月、単独。

【研究費】

「帝国主義時代のイギリスにおける教育の総合的研究（分担）」／文部省科学研究費総合研究A（3年間）、1993
年4月、共同。

「西洋近代における情報伝達に関する総合的研究（分担）」／文部省科学研究費基盤研究B(1)(3年間)、1998年
4月、共同。

「女性生活文化交流史研究（分担）」／科学研究費補助金基盤研究B(2)(4年間)、2004～2007年度、共同。

【その他】

<エッセイ>「イギリス女性生活誌」第1回～第31回／『クロノス』第1号～32号、京都橘大学女性歴史文化
研究所、1994～2010年、単著。